

☆☆☆ どうやって調べるの？ ☆☆☆

世の中の疑問や自分の将来、学習レポートや専門分野など、調べごとに日々追われているあなた！ 安直にググってばかりいませんか？ 多くの方はそうかもしれませんが、ここでは同じキーワードを入れると、ヒット率の高い順なので大体同じ答えが出ます。あなたは人と同じ答えで満足していますか？ さらにキーワードが適切ですか？ 1番の問題はどうやって調べていいのかわからないということではないですか？ 図書館は情報の探し方を提供することもできます。その名は「パスファインダー」。国立国会図書館や地域の公共図書館、大学が Web 上で公開しています。地域の話から大学発の専門分野まで、1日眺めていても飽きない、ちょっとワクワクする内容です。まずは、地元の話から覗いてみませんか？ <https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/pubpath.html>



☆☆☆ 学科からの推薦図書紹介（推薦図書コーナーにあります） ☆☆☆

一般科目

書籍名：その悩み、哲学者がすでに答えを出しています（文響社）

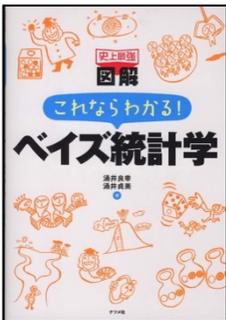
紹介文：「将来が不安」「時間がない」「やりたいことはあるが、行動に移す勇気がない」。現代人の悩みは、ずっと昔からの人類共通の悩みでもあります。アリストテレスなど歴史上の哲学者が、平易な言葉で自分の考えを教えてください。一冊です。



情報工学科

書籍名：史上最強図解 これならわかる！ベイズ統計学（ナツメ社）

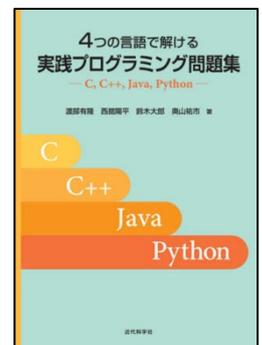
紹介文：近年、人工知能やビッグデータ解析の分野で、「ベイズ理論」が非常に重要視されているようになってきました。この理論を用いることにより経験や常識を扱うことが出来るようになります。本書は、本校3年生程度の知識を持つ学生であれば、1、2週間で例を見ながら自習することが出来ます。



電子機械工学科

書籍名：4つの言語で解ける 実践プログラミング問題集—C、C++、Java、Python（近代科学社）

紹介文：欲張りではありますが、同じ内容のプログラミングを複数の言語で同時に理解出来る1冊です。初心者の方にはとても参考になると思います。



商船学科

書籍名：極端気象シリーズ 雷（成山堂書店）

紹介文：雷は身近な気象現象であり、ここで発生する電気エネルギーにより、身近な電子・電気機器に障害が出たり、時に大きな災害に至ることもあります。この雷は、発達した積乱雲の中で、氷晶の衝突等によりプラスとマイナスの電荷が発生し、これらを中和するように放電する現象です。本書では、こうした雷の種類と発生機構、予測方法、落雷から身を守る術等を分かりやすく解説しています。気象学、防災学、電気工学の学習に最適な一冊です。

